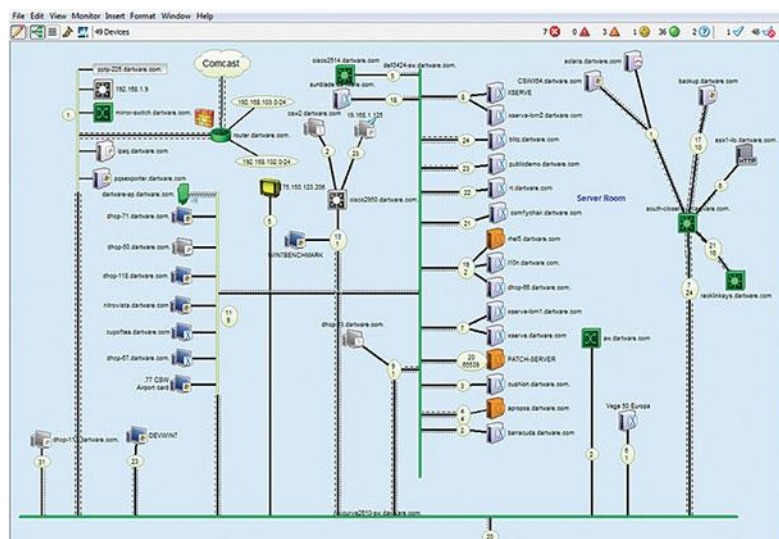


InterMapper 大規模なネットワークに対応したモニタリング・マッピング・アラート監視ソフトウェア

InterMapperは社内IT環境を管理するネットワーク管理者をサポートするモニタリング・マッピング・アラートツールです。

InterMapperに実装されている多彩な機能により、ハードウェア状態、ソフトウェア状態、回線のトラフィック状況システムの負荷を最小限のリソースでリアルタイムに監視することで、お客様のネットワークのSLAを格段に向上させ、運用コストを減らします。

また、製品ライセンスと保守サポートをワンセットにしたサブスクリプションでの提供でお求めやすい低価格となっています。



InterMapperのネットワークライブビューで、ハードウェア・ソフトウェアもしくはトラフィックの問題をリアルタイムに特定することができます。

InterMapperの魅力

InterMapperは、Javaで開発された非常に軽いソフトウェアです。ネットワークの状態は、グラフィカルなアニメーションで表現され、ネットワークについての特別な知識がなくても、一目で異常を確認することが可能です。

リアルタイムモニタリング

InterMapperのリアルタイムモニタリング機能は、ネットワーク上のハードウェア状態・ソフトウェア状態、そして回線のトラフィック状況をグラフィカルなイメージでモニタリングします。システムの運用を監視するだけでなく、システム構築時の性能テストや負荷テストを実施する際にも有効なツールとなります。フロアのPCを監視することで、IPアドレスやOSバージョン等、資産管理にも活用できます。またリアルタイムモニタリングは、Web画面やスマートフォンでの閲覧も可能です。

インテリジェントマッピング機能

InterMapperのマッピング機能は、Visioやdraw.ioのような直感的なグラフィカルマップにより、実際のネットワーク構成図に非常に近い形で作成することができます。マップ作成時に対象機器のLayer2/Connectionのデータを読み出すことで、物理ポート等のインターフェースを自動検出するほか、ネットワークスキャンやオートディスカバリ機能を活用することにより、現在ネットワークに接続されているIPアドレスを持っている機器を検索し、マップ上に表示することも可能です。

製品概要 Product overview

主な特徴

- ・ドリルダウン式のマッピングとモニタリング
- ・モニタリングデータの記録とグラフ化
- ・リアルタイムな高速ポーリングとアラート監視
- ・ポーリング間隔の調整（マップ毎・機器毎に調整可能）
- ・インターフェースの利用率について注意/警告/危険のしきい値を任意に設定可能
- ・外部機器やソフトウェアとのアラート連携
- ・マルチプラットフォームでの稼働（Windows/MacOS/Linux/SLES）
- ・ネットワークスキャンやオートディスカバリによる監視機器の自動検出
- ・すべての機能を30日間無償トライアル可能

システム要件

- ・OS
 - Windows 10/11(64bitのみ)
 - Windows Server 2016/2019/2022
 - MacOS X 10.15/11/12/13
 - RedHat 7/8/9
 - SUSE Linux Enterprise Server 12/15
 - Ubuntu 21.04/22.04
 - CentOS 7/8

- ・メモリー 8GB以上 推奨：16GB以上

- ・HDD 500GB以上

※監視機器の台数により条件が異なります

関連製品

- ・InterMapper RemoteAccess
- ・InterMapper Flows(オプション)
- ・BOM for Windows (連携ソリューション)



株式会社アンフェイクは、Fortra(旧Helpsystems)のプラチナパートナーです

IMSV2025

アラート通知

InterMapperのアラート通知機能は、注意・警告・危険あるいは、アップ・ダウン等の状況に対し、多種多様な通知方法をネットワーク管理者の業務にに合わせて組み合わせて使用することが可能です。
通知方法は、Eメール・ポップアップ通知・サウンド再生以外にも数種類の方法が用意されており、外部連携機能を活用すれば、他システムや警告灯などと連動することも可能です。

デバイスの自動検出機能

InterMapperは、ネットワークに新たに接続されたデバイスを自動検出することが可能です。
BYOD(Bring Your Own Device)を導入している企業はもちろん、それ以外のケースでも、自社ネットワークに許可していない不正なデバイスを検知し、管理者に通知することで、社内情報流出の一例を防ぐことも可能です。

豊富なプローブを実装

InterMapperに内蔵されている標準プローブは、SNMP対応機器については、ルータやスイッチなどの機器の種別に関わらず、利用することが可能です。
監視対象の機器から受信したプローブ情報から、稼働中/停止中などの情報に加えて、パケットロス・応答時間・トラフィック状況・エラー率などをモニタリングし、グラフ化することが可能です。
また、標準プローブ以外に、Windows標準サービスの監視や、メールサーバー・認証サーバー・データベースの監視等、様々な専用プローブが豊富に準備されているほか、機器のMIB(ネットワーク機器の管理情報)情報を使用して、カスタムプローブの作成も可能です。
この機能を使用することで、スイッチのループ発生を検出することが可能になります。

他社製品との比較

他社製 A		 Real-time Network Knowledge	他社製 B
ライセンス体系	サブスクリプション		サブスクリプション
プラットフォーム	Windows/Windows Serverのみ	Windows/Windows Server/Linux	Windows Server/Linux
Flow解析	○	○	○
リモートアクセス	○	○	○(制限あり)
エージェントレス	○	○	○
日本語サポート	○	○	○
必要ライセンス数 算出	総監視ポート数×監視項目	監視台数	監視台数+総監視ポート数
例)24ポートSW 50台 ライセンス費用 ※1	121万円～	39万円～	68万円～

無償トライアルの実施

本データシートや説明だけではわかりにくい、イメージしにくい方向けに
InterMapperの全機能を使用できる30日間の無償トライアルを提供しています。
全機能利用できる為、本番と同じ環境下でのトライアルが実施できるほか、作成したマッピング情報は、正規製品版に引継ぐことも可能です。

製品紹介・無償トライアル申し込み・お問い合わせはこちらから

製品紹介ページはこちら

<https://unfake.co.jp/solution/network/>

無償トライアルのお申し込み・お問い合わせはこちらから

Web : <https://unfake.co.jp/inquiry/>

Mail : sks-sales@unfake.co.jp

※1 この項目は、例として、24ポート有するL2スイッチングハブを50台・トラフィック及びポートダウンの2項目を監視する場合の必要ライセンスを算出しております。
ライセンス費用の算出は、Flow解析機能を含めた価格となっており、2025年6月1日現在の株式会社アンフェイクが保有している情報を使用し、算出しております。
他社様における価格改定及び、使用オプション・契約年数等により、表記価格との違いが発生する場合がございますので、予めご了承ください。

IMSV2025